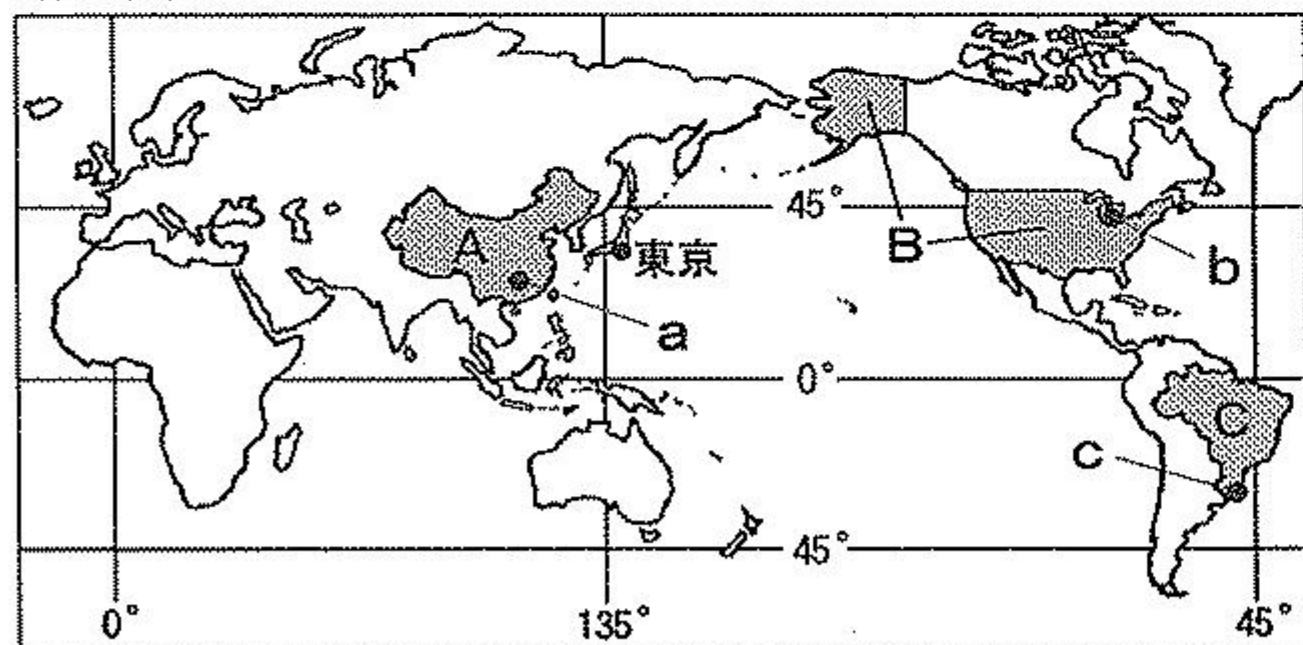


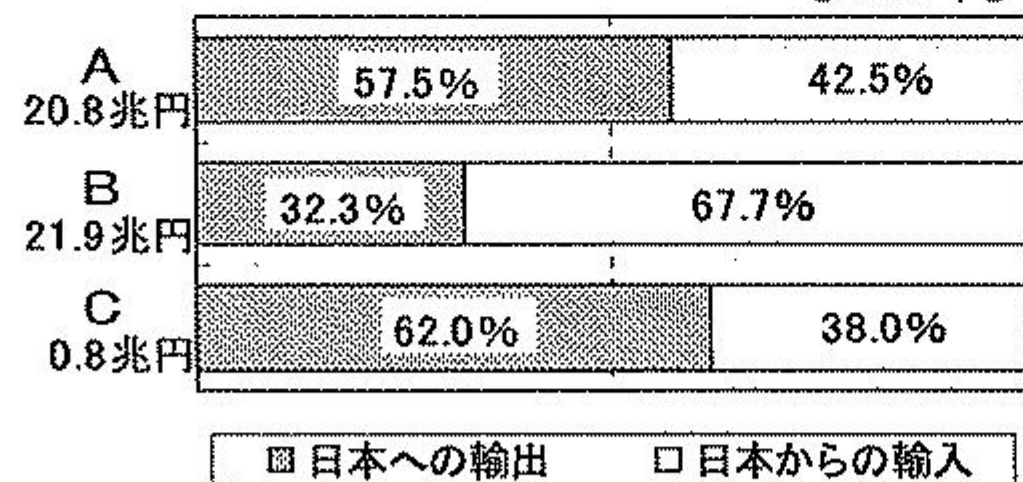
- 1 答えは、すべて、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。  
 注意 2 与えられたいくつかの事項のうちから答えを選ぶ場合は、記号で書きなさい。  
 3 問題用紙は2枚あります。

1 略地図1～3と資料1～5を見て、後の1～3の問いに答えなさい。

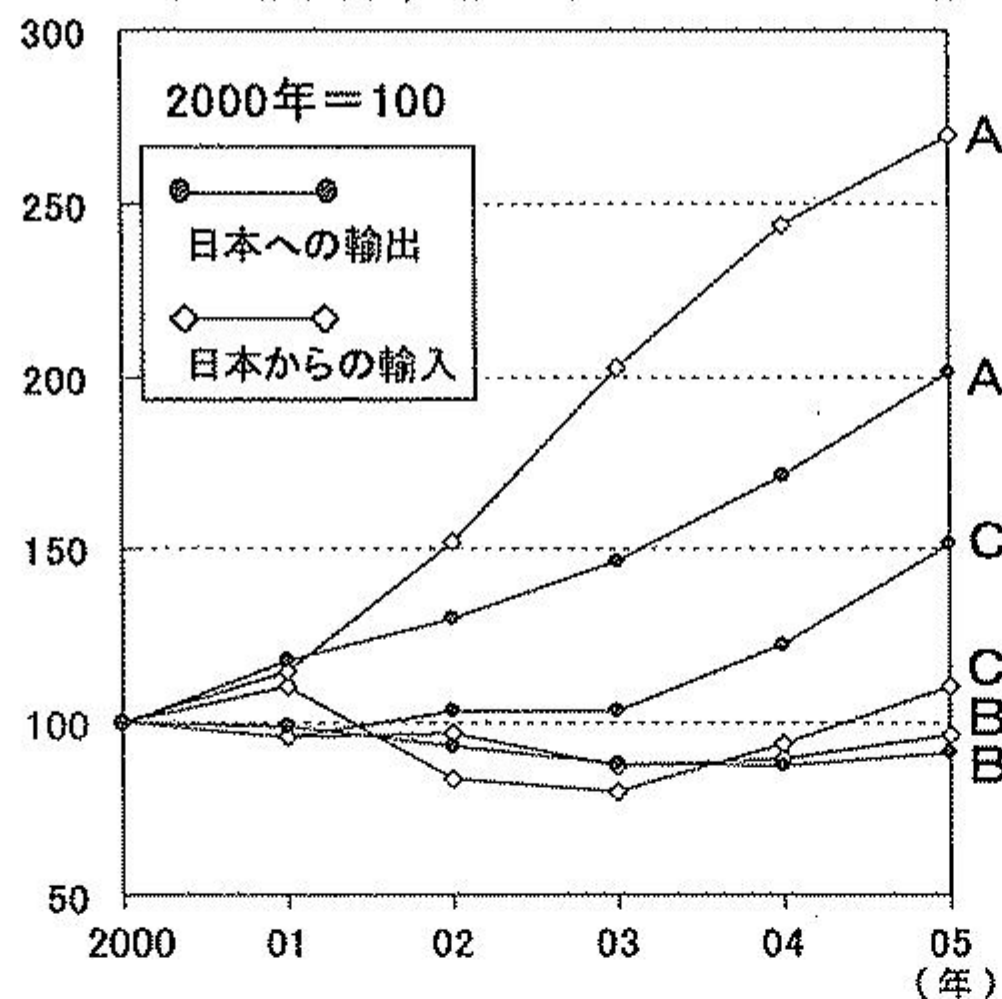
略地図1



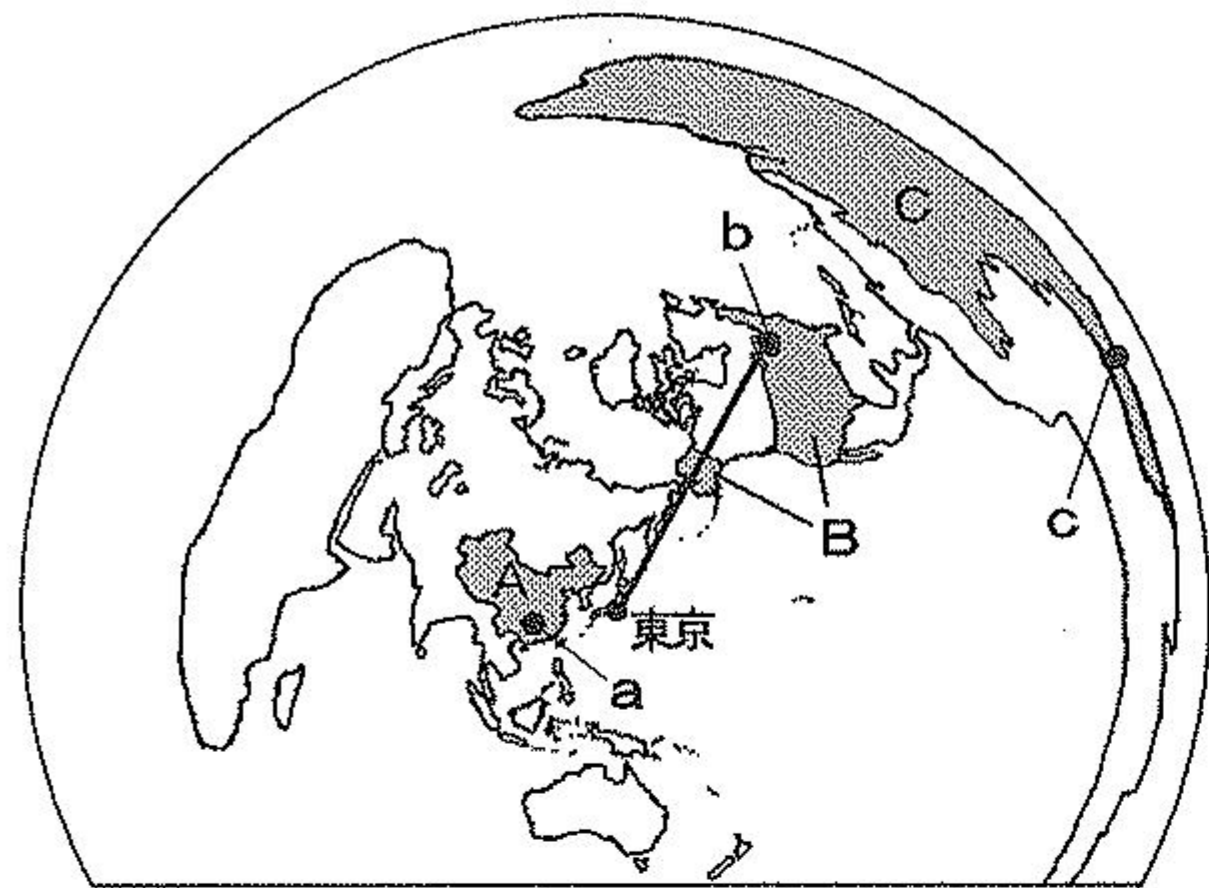
資料1 A～Cの3国と日本との貿易額およびその内訳 [2005年]



資料2 A～Cの3国と日本との貿易額の変化 (2000年の輸出額, 輸入額を100とした指数)



略地図2 東京からの距離と方位が正しい地図



略地図3



資料3 貿易額の多い上位8港 (空港を含む) [2004年]

順位	港(空港)	順位	港(空港)
1	成田国際空港	5	神戸港
2	名古屋港	6	関西国際空港
3	東京港	7	大阪港
4	横浜港	8	千葉港

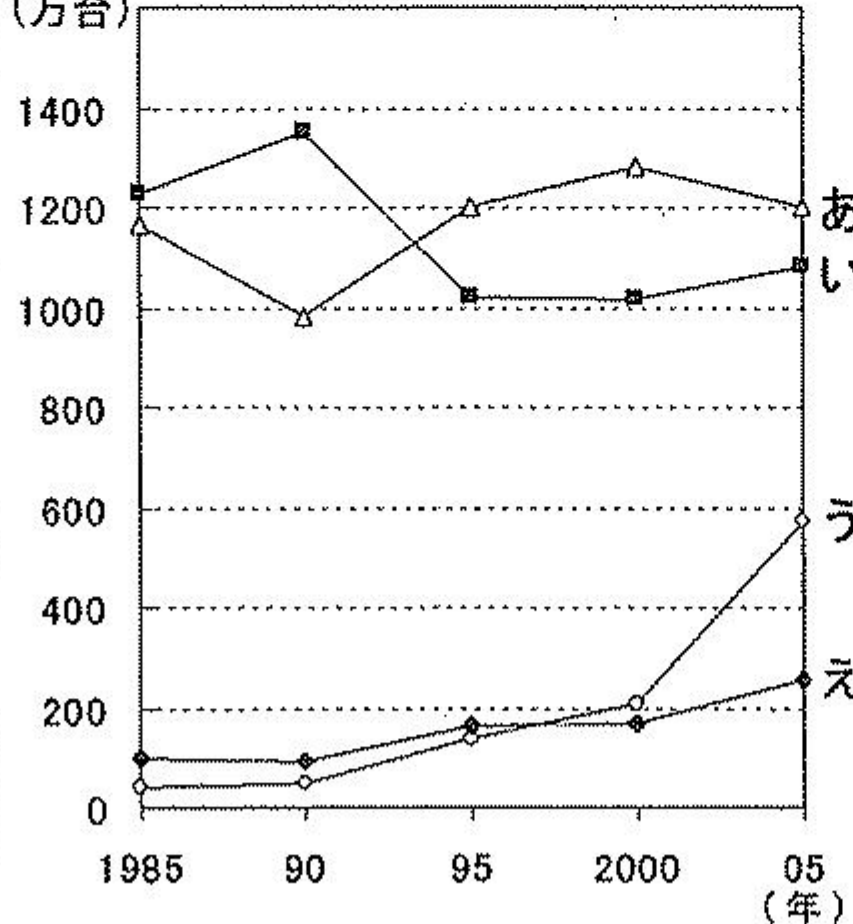
[注: 2004年に成田国際空港は新東京国際空港から改称された。]

資料4 港別の主要貿易品目 (上位3品目) [2004年]

港(空港)	輸出品目	輸出品目
X	IC(集積回路) 精密機械 音響・映像機器部品	医薬品 事務用機械 IC(集積回路)
Y	自動車 自動車部品 内燃機関	石油 衣類 アルミニウム

[注: 内燃機関はガソリンエンジンなどをいう。]

資料5 A～Cの3国と日本の自動車生産台数の変化 (万台)



- 1 略地図1, 2のa～cは、滋賀県が姉妹(友好)協定を結んでいる省や州にある都市(省都・州都)である。略地図1, 2を見て、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。  
 (1) 最も緯度が高い都市はどこか。a～cから1つ選びなさい。  
 (2) 略地図2で示す東京と都市bを結ぶ線——は、略地図1ではどのように表せるか。解答欄の略地図にかきなさい。  
 (3) 都市cは、西経45度の経線上の時刻を標準時としている。日本と都市cとの時差は何時間か。書きなさい。ただし、サマータイムは考えないものとする。

- 2 略地図1と資料1, 2を見て、次の(1), (2)の問いに答えなさい。ただし、資料1, 2のA～Cは、略地図1のA～Cと同じ国である。  
 (1) 2005年に日本との貿易において赤字になっている国を、A～Cから1つ選びなさい。  
 (2) 2000年に日本への輸出額が最も多い国を、A～Cから1つ選びなさい。

- 3 略地図3のア～エは、資料3の8港(空港を含む)のうち、大津から100km以内に位置する港または空港である。また、資料4のX, Yは、略地図3のア～エのいずれかにあたる。略地図1, 3と資料3～5を見て、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。  
 (1) 資料4のXは、略地図3のどの港または空港にあたるか。ア～エから1つ選びなさい。また、それを選んだ理由も書きなさい。  
 (2) 資料4のYの港がある一帯には、自動車工場やコンビナートをもつ日本有数の工業地帯が広がっている。Yの港の主要貿易品目から考えて、この工業地帯名を書きなさい。  
 (3) 次の□の文は、略地図1のAの自動車生産台数の変化を説明したものである。この変化を示すグラフを、資料5のあ～えから1つ選びなさい。

Aの自動車生産台数は、1990年ごろから増加しはじめ、2005年には2000年の約3倍になっている。

- (4) 略地図1のAと日本とは古くから交流があった。平安時代に、平清盛がAとの貿易を進めるために整備した港は、現在のどの港にあたるか。略地図3のア～エから1つ選びなさい。

2 太郎さんは、各時代に出された主な法令を略年表にまとめた。略年表、資料1～3を見て、後の1～7の問いに答えなさい。

略年表

時代	主な法令
飛鳥	[ X ]
奈良	[ Y ]
平安	
鎌倉	御成敗式目……………A
室町	分国法……………B
安土桃山	刀狩令
江戸	武家諸法度……………C
明治	地租改正条例……………D

資料1

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからう(争う)ことなきを宗と(第一に)せよ。  
 二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法(仏教の教え)・僧なり。

- 1 資料1は、略年表 [ X ] の法令の一部である。この法令を定めた人物はだれか。書きなさい。

[資料1～資料5は、「日本国勢図会」、「世界国勢図会」より作成]

2 資料2は、奈良時代の社会のようすについてまとめたものである。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 下線部①は、略年表 [ Y ] の法令の内容を示している。この法令を何というか。書きなさい。

(2) 下線部②にあてはまるものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 土倉や酒屋
- イ 貴族や寺院
- ウ 守護や地頭
- エ 商人や手工業者

3 鎌倉時代について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 略年表のAを制定した北条泰時は、当時、何という地位についていたか。その職名を書きなさい。

(2) [ ] の文は、鎌倉時代の文化について述べたものである。( ) にあてはまる作品を、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 平家物語
- イ 源氏物語
- ウ 古事記
- エ 南総里見八犬伝

武士と民衆の力がのびてくるとともに、素朴で力強い感じをあたえる文化が生まれてきた。文学では、軍記物の( )が、琵琶法師によって武士や民衆のあいだに語り伝えられた。

4 略年表のBが定められた室町時代には、豊かな商工業者を中心に町の自治が行われ、京都では、これらの人々が資料3に描かれている祇園祭を復興した。これらの商工業者を何と呼ぶか。書きなさい。

5 江戸時代について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 江戸幕府が略年表のCを定めて、大名に対して禁止したことや規制したことのうち、1つを書きなさい。

(2) 江戸時代の大名で、関ヶ原の戦い以降に徳川氏に従った大名を何と呼ぶか。書きなさい。

6 略年表のDが出されたころのできごとを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 農地改革が行われた。
- イ 天保の改革が行われた。
- ウ 普通選挙法が成立した。
- エ 学制が公布された。

7 次のア～エは、税に関することについて述べたものである。このうち、略年表のZの期間にあたるものを3つ選び、時代の古い順に書きなさい。

- ア 太閤検地を行い、石高に応じて年貢を納めさせた。
- イ 租・庸・調などの負担が始まった。
- ウ 株仲間を認め営業を独占させる代わりに税を納めさせた。
- エ 地頭が年貢の取り立てを行った。

資料2

奈良時代には、重い税や兵役の負担からのがれるため、口分田を捨てて逃亡する農民が現れた。また、人口が増え、口分田が不足してきたこともあり、朝廷は開墾を奨励し、①新しく開墾した土地を永久に所有することを認めた。そのため、②私有地を広げる者などが現れるようになった。

資料3



[洛中洛外図屏風]

3 次の [ ] の会話文は、ある学級で「5年後の私」をテーマに話し合ったときのものである。資料1、2を見て、後の1～5の問いに答えなさい。

花子さん：5年後といえば20歳ね。私のおじさんがa小説を書いて出版したので、私も大学で文学を勉強しながら小説を書きたいと思っているわ。

太郎さん：僕は、高校を卒業して地元のb企業に就職していると思うよ。

直子さん：私は、両親が経営する美容院でc家族と一緒に働いていると思うわ。

次郎さん：僕は、まだよく分からないな。でも、20歳になったらd選挙にも行けるし、e裁判員制度が始まると、裁判員に選ばれるかもしれないね。

1 下線部aは、次のア～オのどの基本的人権にあたるか。1つ選びなさい。  
ア 社会権    イ 自由権    ウ 平等権    エ 請願権    オ 参政権

2 下線部bについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。  
(1) 企業のうち、国や地方公共団体が資金を出して経営する企業を何というか。書きなさい。  
(2) 企業の代表的なものに株式会社がある。株主が出席して、事業の基本方針などを議決する場を何というか。書きなさい。

3 下線部cについて、資料1を見て、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 1980年と2000年を比べたとき、世帯数の割合が最も増加している核家族世帯を書きなさい。

(2) 資料1から読み取れることを、次のア～エから1つ選びなさい。

ア 「1人親と子ども」世帯の全体に占める割合と世帯数は、1960年、1980年、2000年と常に減少している。

イ 1980年の「夫婦と子ども」世帯の世帯数は、1960年より減少している。

ウ 2000年の「夫婦のみ」世帯の世帯数は、1,000万世帯を超えている。

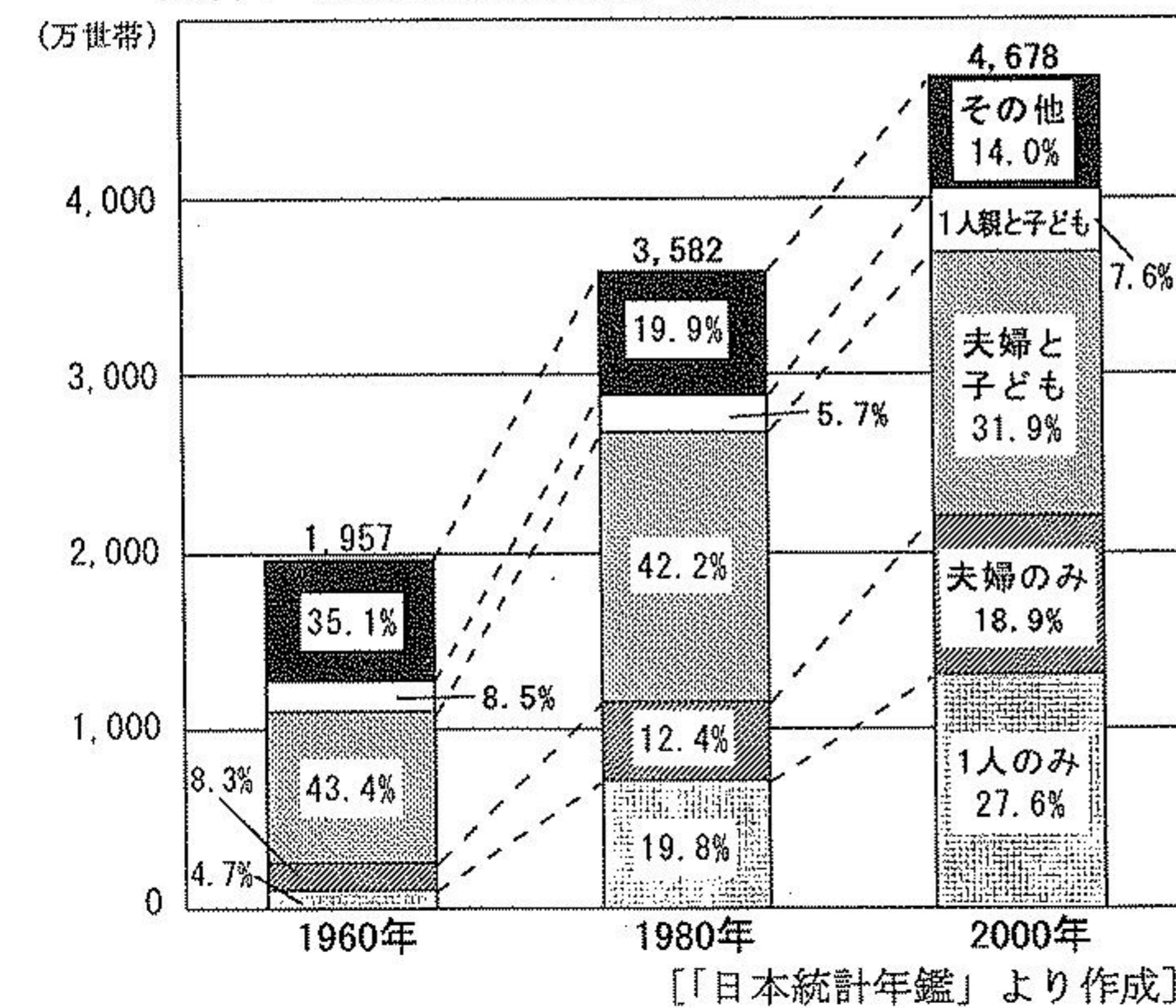
エ 2000年の「1人のみ」世帯の全体に占める割合は、1960年に比べて、5倍以上になっている。

4 下線部dについて、資料2は比例代表制による選挙の各政党の得票数をもとに、議席を配分するために作成した表である。比例代表の当選者を5人とするとき、5人目の当選者が出る政党を、資料2のA～Cから1つ選びなさい。ただし、各政党の候補者名簿に記載された人数は、それぞれ5人とする。

5 下線部eについて、この制度は平成21年5月までに実施が予定されている。裁判員の仕事として正しいものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 民事裁判で、弁護士と相談して、被告の利益を守る。
- イ 民事裁判で、原告と被告の主張を聞き、証拠を調べたうえで判断を下す。
- ウ 刑事裁判で、被疑者を被告人として起訴するかどうかを決める。
- エ 刑事裁判で、被告人が有罪か無罪かを審理し、有罪であれば刑罰を決める。

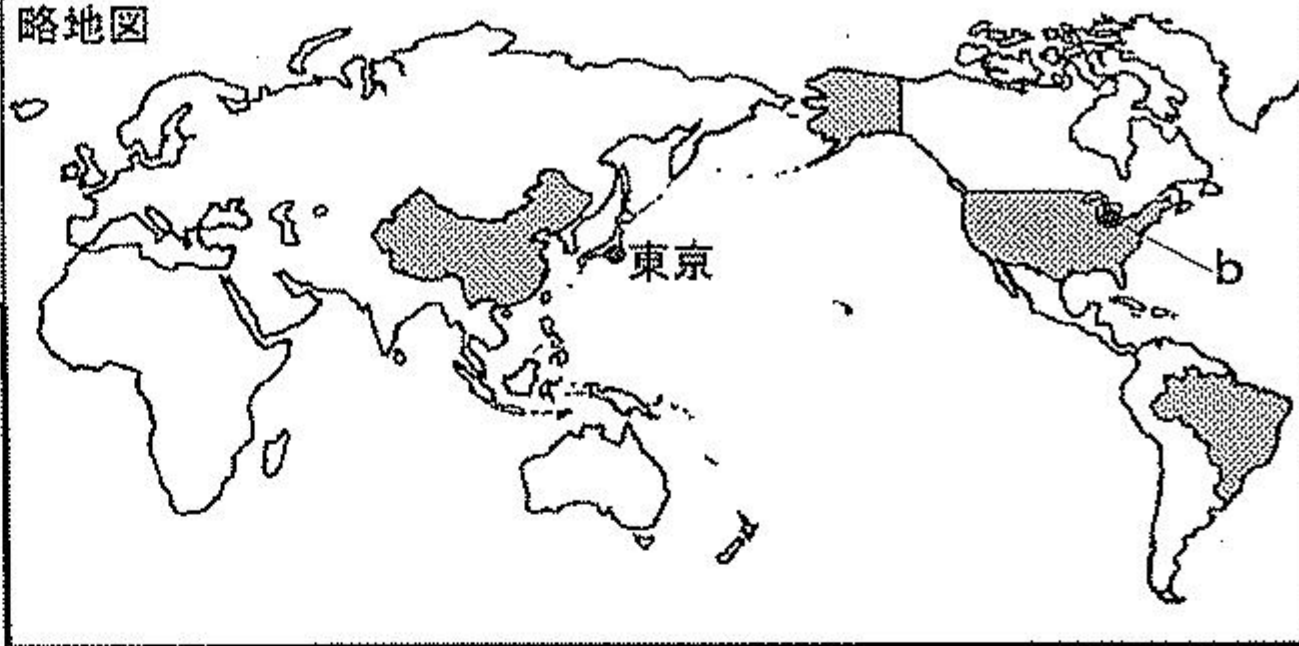
資料1 家族類型別世帯数の推移



資料2

政党	A	B	C
得票数	24,000票	18,000票	9,600票
得票数÷1	24,000	18,000	9,600
得票数÷2	12,000	9,000	4,800
得票数÷3	8,000	6,000	3,200

1

1	(1)			(2)	略地図 	
	(3)	時間				
2	(1)					
	(2)					
3	(1)	記号				
		理由				
	(2)			(3)		
	(4)					

2

1								
2	(1)			(2)				
3	(1)			(2)				
4								
5	(1)							
	(2)							
6								
7			→			→		

3

1						
2	(1)			(2)		
3	(1)			(2)		
4						
5						